

---

# キヤノン株式会社

## 2018年第2四半期 決算説明会

2018年7月26日

代表取締役副社長 CFO 田中 稔三

本資料で記述されている業績見通し並びに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる可能性があることをご承知おき下さい。

# 目次

---

■ 2018年2Q実績	P2~5
■ 2018年最新見通し	P 6~11
■ 事業別詳細 (2018年2Q実績/2018年最新見通し)	P12~18
■ 財務状況	P19~20
■ 参考資料	P21~25

---

## 増収増益、利益率も改善

- 新製品が牽引役となり、上期としても増収増益
- 売上は2008年以来、10年ぶりに2Qとして1兆円超となる

## 【現行事業】

- 露光装置が好調を持続
- オフィス機器もプラス成長

## 【新規事業】

- メディカルが増収に転じ、全事業が成長を持続

# 2018年 全社PL(2Q)

## ■ 対前年(組替前)：増収増益に転じ、営業利益率も10%台を達成

組替え影響額の符号は利益表示となっております

(億円)	2018年			2017年			組替前比較	
	2Q実績	サービス 組替影響	年金 組替影響	2Q実績 (組替前)	2Q実績	年金 組替影響	2Q実績 (組替前)	対前年
売上高	10,064	0	0	10,064	9,925	0	9,925	+1.4%
売上総利益 (売上総利益率)	4,746 47.2%	-281	-8	5,035 50.0%	4,950 49.9%	-6	4,956 49.9%	+1.6%
経費	3,766	+281	-34	4,013	4,012	-19	3,993	
営業利益 (営業利益率)	980 9.7%	0	-42	1,022 10.2%	938 9.5%	-25	963 9.7%	+6.1%
営業外損益	121	0	+42	79	58	+25	33	
税引前利益	1,101	0	0	1,101	996	0	996	+10.6%
純利益 (純利益率)	777 7.7%	0	0	777 7.7%	692 7.0%	0	692 7.0%	+12.3%
USD	109.14			109.14	111.12		111.12	
EURO	129.97			129.97	122.36		122.36	

※1 2018年はサービス収入の原価と経費の組替えを行っています

※2 2018年は年金の基準変更影響に伴い、営業利益と営業外で組替えを行っており、2017年にも遡及して反映させています

# 2018年 セグメント別PL(2Q)

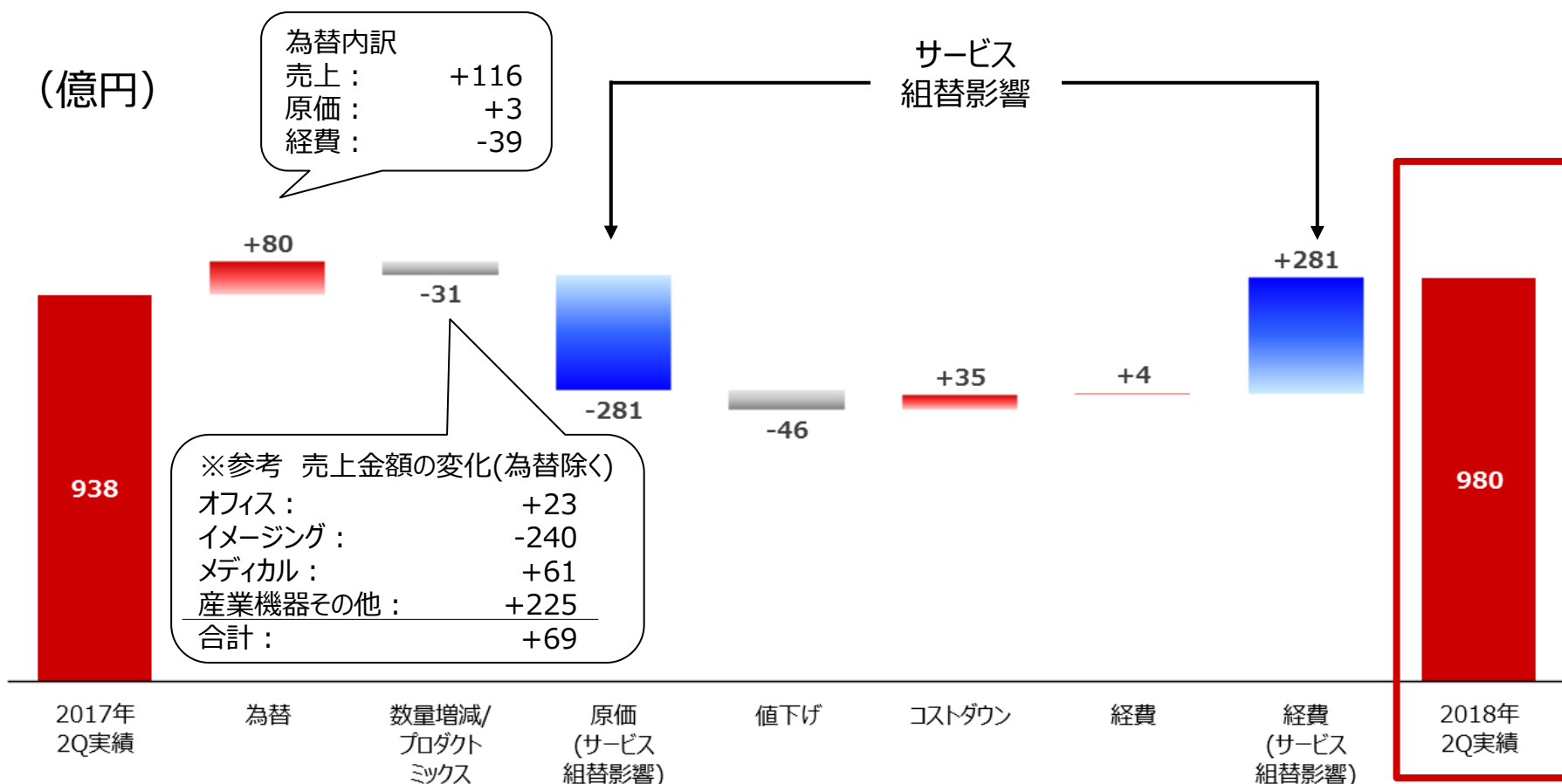
- イメージングシステムがマイナスとなるも、オフィスや産業機器その他が売上・利益の両面で全社業績に大きく貢献

(億円)		2018年 2Q実績	2017年 2Q実績	対前年
オフィス	売上高	4,777	4,707	+1.5%
	営業利益	619	559	+10.7%
イメージング システム	売上高	2,605	2,827	-7.8%
	営業利益	348	485	-28.3%
メディカル システム	売上高	947	886	+6.9%
	営業利益	19	2	+1,027.3%
産業機器 その他	売上高	2,002	1,725	+16.1%
	営業利益	243	132	+84.9%
全社消去	売上高	-267	-220	-
	営業利益	-249	-240	-
連結合計	売上高	10,064	9,925	+1.4%
	営業利益	980	938	+4.4%

※1 2018年は年金の基準変更影響に伴い、営業利益と営業外で組替えを行っており、2017年にも遡及して反映させています

# 2018年 営業利益分析(2Q)対前年

- 数量増減：カメラの数量減影響を産業機器その他で吸収
- 値下げ：抑制効果により前年より低い水準に留める



※1 2018年は年金の基準変更影響に伴い、営業利益と営業外で組替えを行っており、2017年にも遡及して反映させています

# 2018年最新見通しのポイント

## 【3Q以降の為替前提】

18年下期の為替影響額  
(1円の変動による影響)

平均為替レート	18年下期	18年年間	売上	営業利益
USD/円	110.00円	109.34円	75億円	27億円
EUR/円	130.00円	130.71円	34億円	16億円

## 【外部環境】

- 貿易摩擦リスクはあるが、世界経済は緩やかな拡大が続く

## 【2018年見通し】

- 様々な販売施策により新製品の売上を加速
- 原価低減と経費の見直しによる収益性強化  
⇒引き続き2年連続の増収増益を目指す

# 2018年 全社PL(年間)対前年

- 売上は2007年以来の高水準
- 全ての利益項目で利益率が対前年で向上する見通し

組替え影響額の符号は利益表示となっております

(億円)	2018年				2017年			組替前比較
	最新見通し	サービス 組替影響	年金 組替影響	最新見通し (組替前)	年間実績	年金 組替影響	年間実績 (組替前)	対前年
売上高	41,200	0	0	41,200	40,800	0	40,800	+1.0%
売上総利益 (売上総利益率)	19,065 46.3%	-1,175	-30	20,270 49.2%	19,906 48.8%	-21	19,927 48.8%	+1.7%
経費	15,280	+1,175	-140	16,315	16,690	-78	16,612	
営業利益 (営業利益率)	3,785 9.2%	0	-170	3,955 9.6%	3,216 7.9%	-99	3,315 8.1%	+19.3%
営業外損益	315	0	+170	145	323	+99	224	
税引前利益	4,100	0	0	4,100	3,539	0	3,539	+15.9%
純利益 (純利益率)	2,800 6.8%	0	0	2,800 6.8%	2,419 5.9%	0	2,419 5.9%	+15.7%
USD	109.34			109.34	112.13		112.13	
EURO	130.71			130.71	126.69		126.69	

※1 2018年はサービス収入の原価と経費の組替えを行っています

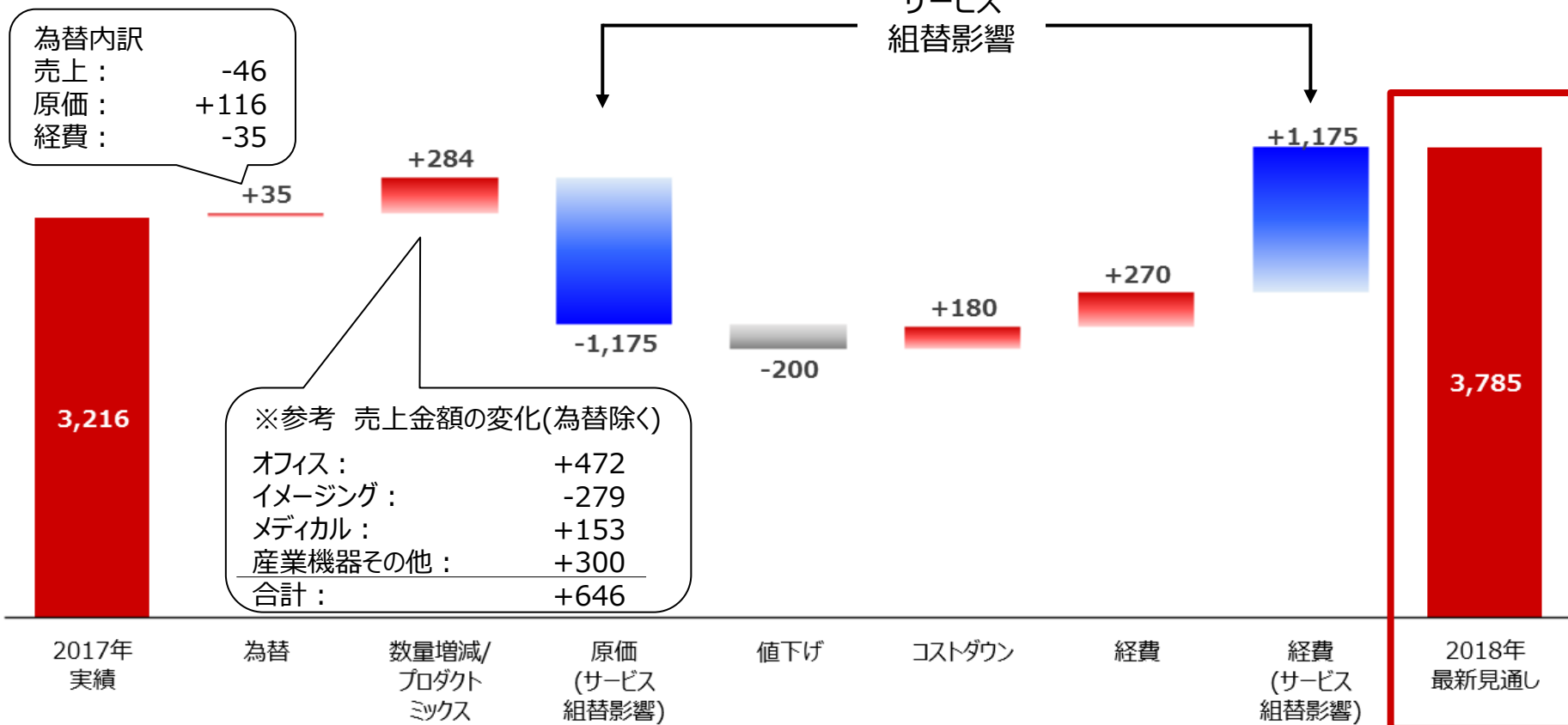
※2 2018年は年金の基準変更影響に伴い、営業利益と営業外で組替えを行っており、2017年にも遡及して反映させています



# 2018年 営業利益分析(年間)対前年 Canon

- 数量増減：各事業で新製品を中心に拡販し、イメージングシステムのマイナス影響を吸収
- 値下げは前年並み、コストダウンで吸収

(億円)



※1 2018年は年金の基準変更影響に伴い、営業利益と営業外で組替えを行っており、2017年にも遡及して反映させています

# 2018年 全社PL(年間)対前回

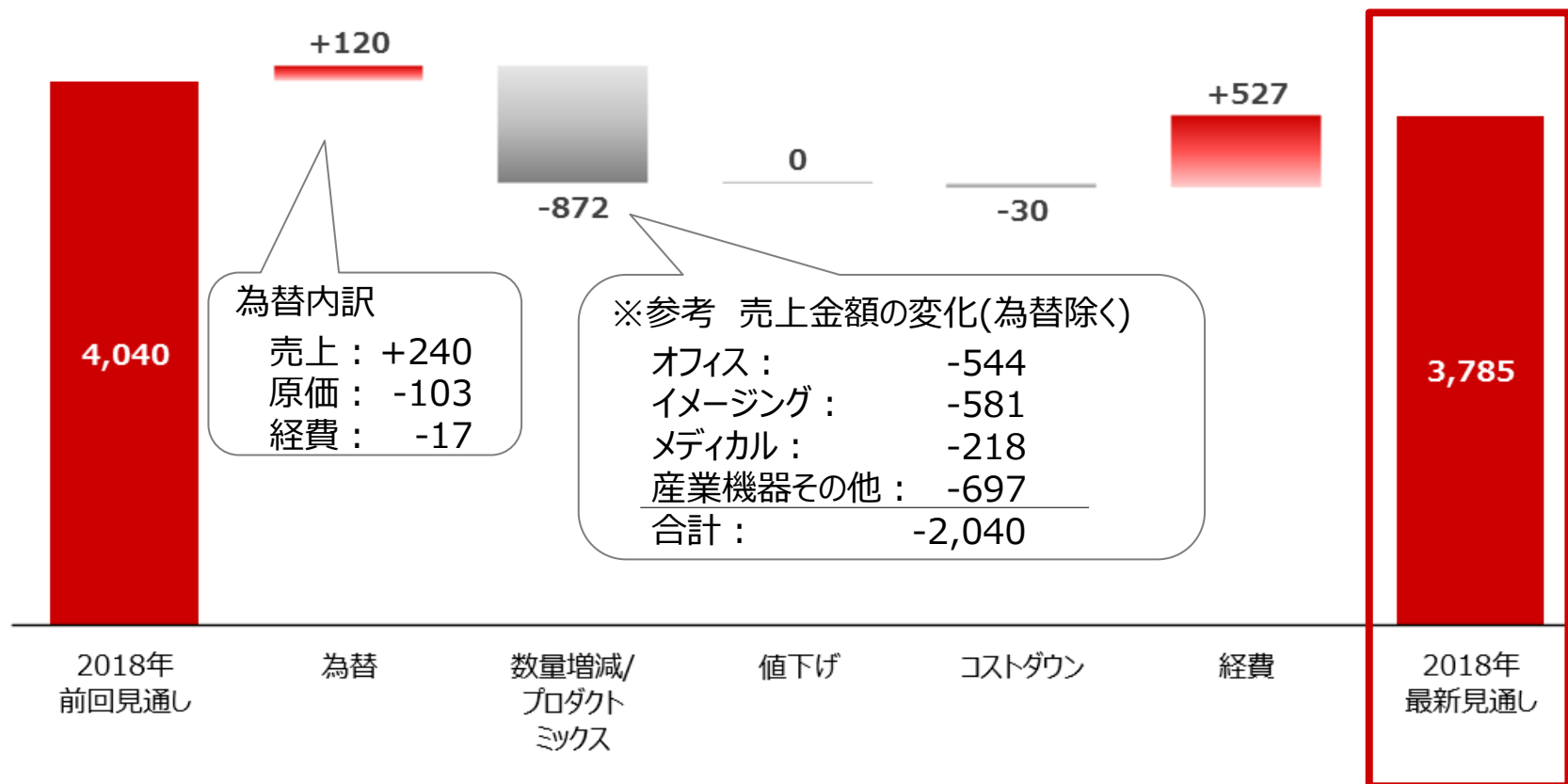
- 売上を1,800億円、営業利益を255億円、引き下げ
  - 複合機やカメラは普及価格帯モデルなどの伸びにより平均単価が低下
  - 産業機器その他は過熱した有機EL投資の一時的な調整影響を受ける

(億円)	2018年		
	最新見通し	前回見通し	対前回
売上高	41,200	43,000	-1,800
売上総利益 (売上総利益率)	19,065 46.3%	19,830 46.1%	-765
経費	15,280	15,790	+510
営業利益 (営業利益率)	3,785 9.2%	4,040 9.4%	-255
営業外損益	315	160	+155
税引前利益	4,100	4,200	-100
純利益 (純利益率)	2,800 6.8%	2,800 6.5%	0
USD	109.34	107.24	
EURO	130.71	132.25	

# 営業利益分析(年間)対前回

- 数量増減：平均単価の低下に加えて、コンパクトカメラの数量減、メディカルの診療報酬改定、産業機器の投資先送りの影響を反映
- 値下げは前回は維持、コストダウンは高騰する原材料の影響を加味

(億円)



# 2018年 セグメント別PL (年間)

- 対前回ではイメージングと産業機器その他を中心に引き下げ
- 対前年では新製品の拡販とコストダウンの推進により、増収増益

(億円)		2018年 最新見通し	2017年 実績	対前年	2018年 前回見通し	対前回
オフィス	売上高	18,990	18,659	+1.8%	19,390	-400
	営業利益	2,330	1,806	+29.0%	2,355	-25
イメージング システム	売上高	11,010	11,362	-3.1%	11,530	-520
	営業利益	1,645	1,759	-6.5%	1,930	-285
メディカル システム	売上高	4,500	4,362	+3.2%	4,700	-200
	営業利益	270	225	+20.0%	270	0
産業機器 その他	売上高	7,700	7,317	+5.2%	8,390	-690
	営業利益	650	568	+14.5%	694	-44
全社消去	売上高	-1,000	-900	-	-1,010	+10
	営業利益	-1,110	-1,142	-	-1,209	+99
連結合計	売上高	41,200	40,800	+1.0%	43,000	-1,800
	営業利益	3,785	3,216	+17.7%	4,040	-255

※1 2017年は年金の基準変更に伴い、営業利益と営業外で組替え処理を遡及して行っています

# オフィス（複合機）

- 2Qも次世代カラー機を中心に販売を伸ばす
- 年間にはディーラーサポート体制も強化し、市場を上回る成長を目指す

	(億円)			(億円)				
	2Q			年間				
	2018年 実績	2017年 実績	対前年	2018年 見通し	2017年 実績	対前年	2018年 (前回)	対前回
複合機	1,783	1,754	+1.6%	7,119	6,940	+2.6%	7,276	-157
LP	1,835	1,809	+1.5%	7,053	7,067	-0.2%	7,053	0
その他	1,159	1,144	+1.3%	4,818	4,652	+3.6%	5,061	-243
売上高計	4,777	4,707	+1.5%	18,990	18,659	+1.8%	19,390	-400
営業利益	619	559	+10.7%	2,330	1,806	+29.0%	2,355	-25
%	13.0%	11.9%		12.3%	9.7%		12.1%	

※ 2018年は年金の基準変更影響に伴い、営業利益と営業外で組替えを行っており、2017年にも遡及して反映させています

## ■ 対前年売上伸び率(現地通貨)

## ■ 台数伸び率

## 『imageRUNNER ADVANCE 第3世代 2nd Edition』

	2018年 2Q実績	2018年 見通し	複合機	2018年 2Q実績	2018年 見通し
複合機	+0.2%	+2.6%	モノクロ	-8%	-1%
LP	+0.3%	+0.6%	カラー	+11%	+8%
その他	-0.2%	+3.4%	合計	+2%	+4%
合計	+0.1%	+2.0%			



- ・従来機の高信頼性を継承
- ・個人認証やプリント管理機能などを標準装備
- ・外部クラウドサービスと連携

# オフィス（レーザープリンター）

- 2Qは、消耗品が増収に転じたことで、全体でも増収を達成
- 年間は、上期の順調な本体販売を受け、前回公表を据え置き

	(億円)			(億円)				
	2Q			年間				
	2018年 実績	2017年 実績	対前年	2018年 見通し	2017年 実績	対前年	2018年 (前回)	対前回
複合機	1,783	1,754	+1.6%	7,119	6,940	+2.6%	7,276	-157
LP	1,835	1,809	+1.5%	7,053	7,067	-0.2%	7,053	0
その他	1,159	1,144	+1.3%	4,818	4,652	+3.6%	5,061	-243
売上高計	4,777	4,707	+1.5%	18,990	18,659	+1.8%	19,390	-400
営業利益	619	559	+10.7%	2,330	1,806	+29.0%	2,355	-25
%	13.0%	11.9%		12.3%	9.7%		12.1%	

※ 2018年は年金の基準変更影響に伴い、営業利益と営業外で組替えを行っており、2017年にも遡及して反映させています

## ■ 対前年売上伸び率(現地通貨)

## ■ 台数伸び率

	2018年 2Q実績	2018年 見通し	L P	2018年 2Q実績	2018年 見通し
複合機	+0.2%	+2.6%	モノクロ	+4%	0%
LP	+0.3%	+0.6%	カラー	+3%	+8%
その他	-0.2%	+3.4%	合計	+4%	+1%
合計	+0.1%	+2.0%			

# オフィス（その他）

- 2Qは、グラフィックアーツ向け新製品の販売台数を伸ばす
- 年間では、販売組織の強化などを通して更なる拡販

	(億円)			(億円)				
	2018年 実績	2017年 実績	対前年	2018年 見通し	2017年 実績	対前年	2018年 (前回)	対前回
複合機	1,783	1,754	+1.6%	7,119	6,940	+2.6%	7,276	-157
LP	1,835	1,809	+1.5%	7,053	7,067	-0.2%	7,053	0
その他	1,159	1,144	+1.3%	4,818	4,652	+3.6%	5,061	-243
売上高計	4,777	4,707	+1.5%	18,990	18,659	+1.8%	19,390	-400
営業利益	619	559	+10.7%	2,330	1,806	+29.0%	2,355	-25
%	13.0%	11.9%		12.3%	9.7%		12.1%	

※ 2018年は年金の基準変更影響に伴い、営業利益と営業外で組替えを行っており、2017年にも遡及して反映させています

## ■ 対前年売上伸び率(現地通貨)

	2018年 2Q実績	2018年 見通し
複合機	+0.2%	+2.6%
LP	+0.3%	+0.6%
その他	-0.2%	+3.4%
合計	+0.1%	+2.0%



高速カットシートインクジェット  
プリンター

『VarioPrint i300』



高画質インクジェットカラー連帳機

『ProStream 1000』

ワイドフォーマットプリンター

『Colorado 1640』



# イメージングシステム (カメラ)

- 2Qは、新製品のEOS Kiss Mが販売を牽引し、各地でシェア向上
- 年間は、新規の裾野拡大とハイアマ機の販売強化による拡販

	(億円)			(億円)				
	2018年 実績	2017年 実績	対前年	2018年 見通し	2017年 実績	対前年	2018年 (前回)	対前回
カメラ	1,644	1,815	-9.4%	6,738	7,028	-4.1%	7,114	-376
インクジェット	739	782	-5.4%	3,324	3,356	-0.9%	3,396	-72
その他	222	230	-3.9%	948	978	-3.1%	1,020	-72
売上高計	2,605	2,827	-7.8%	11,010	11,362	-3.1%	11,530	-520
営業利益	348	485	-28.3%	1,645	1,759	-6.5%	1,930	-285
%	13.3%	17.2%		14.9%	15.5%		16.7%	

※ 2018年は年金の基準変更影響に伴い、営業利益と営業外で組替えを行っており、2017年にも遡及して反映させています

## ■ 対前年売上伸び率(現地通貨)

## ■ 台数伸び率 (単位:万台)

## ミラーレスの戦略機種

### 『EOS Kiss M』

	2018年 2Q実績	2018年 見通し
カメラ	-11.1%	-4.4%
インクジェット	-7.0%	-1.0%
合計	-9.5%	-3.3%

	2018年2Q実績		2018年見通し	
	台数	伸び率	台数	伸び率
レンズ交換式	138	-3%	550	0%
コンパクト	84	-22%	300	-26%





# イメージングシステム（インクジェット）

- 2Qは、販売チャネルを見直した影響で、台数は前年を下回る
- 年間では、地域特性に合った機種の販売を強化していくことで、前年を上回る販売台数を目指す

	(億円)			(億円)				
	2Q			年間				
	2018年 実績	2017年 実績	対前年	2018年 見通し	2017年 実績	対前年	2018年 (前回)	対前回
カメラ	1,644	1,815	-9.4%	6,738	7,028	-4.1%	7,114	-376
インクジェット	739	782	-5.4%	3,324	3,356	-0.9%	3,396	-72
その他	222	230	-3.9%	948	978	-3.1%	1,020	-72
売上高計	2,605	2,827	-7.8%	11,010	11,362	-3.1%	11,530	-520
営業利益	348	485	-28.3%	1,645	1,759	-6.5%	1,930	-285
%	13.3%	17.2%		14.9%	15.5%		16.7%	

※ 2018年は年金の基準変更影響に伴い、営業利益と営業外で組替えを行っており、2017年にも遡及して反映させています

## ■ 対前年売上伸び率(現地通貨)

## ■ 台数伸び率

## 大容量インクモデル『Gシリーズ』

	2018年 2Q実績	2018年 見通し
カメラ	-11.1%	-4.4%
インクジェット	-7.0%	-1.0%
合計	-9.5%	-3.3%

	2018年 2Q実績	2018年 見通し
インクジェット	-3%	+3%



# メディカルシステム

- 2Qは、海外の販売が牽引し、増収増益を達成
- 年間は、新製品の拡販と収益改善施策による利益率の向上

	(億円)			(億円)				
	2Q		対前年	年間				
	2018年 実績	2017年 実績			2018年 見通し	2017年 実績	対前年	2018年 (前回)
売上高計	947	886	+6.9%	4,500	4,362	+3.2%	4,700	-200
営業利益	19	2	+1,027.3%	270	225	+20.0%	270	0
%	2.0%	0.2%		6.0%	5.2%		5.7%	

※ 2018年は年金の基準変更影響に伴い、営業利益と営業外で組替えを行っており、2017年にも遡及して反映させています

## 超音波診断装置『Aplio iシリーズ』

## MRI『Vantage Orian』

### ■ 対前年売上伸び率(現地通貨)

	2018年 2Q実績	2018年 見通し
合計	+6.9%	+3.2%



# 産業機器その他

- 半導体露光装置は好調が続き、大きく販売台数を伸ばす
- 過熱していた有機EL投資の一時的な調整影響を受け、FPD露光装置と有機EL蒸着装置は引き下げ

	(億円)			(億円)				
	2Q			年間				
	2018年 実績	2017年 実績	対前年	2018年 見通し	2017年 実績	対前年	2018年 (前回)	対前回
露光装置	528	439	+20.1%	2,148	1,931	+11.2%	2,268	-120
その他	1,474	1,286	+14.7%	5,552	5,386	+3.1%	6,122	-570
売上高計	2,002	1,725	+16.1%	7,700	7,317	+5.2%	8,390	-690
営業利益	243	132	+84.9%	650	568	+14.5%	694	-44
%	12.1%	7.6%		8.4%	7.8%		8.3%	

※ 2018年は年金の基準変更影響に伴い、営業利益と営業外で組替えを行っており、2017年にも遡及して反映させています

## ■ 対前年売上伸び率(現地通貨)

## ■ 露光装置台数 (単位：台)

	2018年 2Q実績	2018年 見通し		2017年 2Q実績	2018年 2Q実績	2017年 実績	2018年 見通し
	露光装置	+19.9%		+11.3%	半導体	19	32
その他	+14.4%	+3.3%	FPD	14	16	84	70
合計	+15.8%	+5.4%					

# 在庫の状況

- 2Qは引き続き適正水準を維持
  - 対前年では金額、回転日数ともに横ばい水準
  - 対前四半期では下期の商戦期に向けた準備などで増加

(金額：億円)

		2017年				2018年	
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
オフィス	金額	2,073	2,115	2,227	2,054	2,079	2,103
	日数	40	42	44	40	40	41
イメージングシステム	金額	1,427	1,488	1,636	1,304	1,519	1,566
	日数	46	52	54	39	49	59
メディカルシステム	金額	-	805	766	836	804	860
	日数	-	67	70	71	66	74
産業機器 その他	金額	2,191	1,560	1,581	1,506	1,483	1,465
	日数	94	98	90	79	78	79
合計	金額	5,691	5,968	6,210	5,700	5,885	5,994
	日数	54	55	57	49	52	56

# キャッシュフロー(年間)

- キャッシュフロー経営の徹底
  - 新規事業への成長投資を見込む
  - 設備投資は償却費の範囲内

(億円)	2018年 最新見通し	2018年 前回見通し	2017年 実績
営業活動によるキャッシュフロー	5,400	5,500	5,905
投資活動によるキャッシュフロー	-3,100	-3,300	-1,650
<b>フリーキャッシュフロー</b>	<b>2,300</b>	<b>2,200</b>	<b>4,255</b>
財務活動によるキャッシュフロー	-3,338	-3,218	-3,404
為替変動影響	-180	-100	65
現金の純増減額	-1,218	-1,118	916
<b>現金の期末残高</b>	<b>6,000</b>	<b>6,100</b>	<b>7,218</b>
<b>手元回転月数 (※)</b>	<b>1.7</b>	<b>1.7</b>	<b>2.0</b>
設備投資	1,900	2,000	1,475
償却費	2,450	2,450	2,619

(※) 2018年最新見通しおよび2017年実績は下期売上高、2018年前回見通しは年間売上高で算出

# 參考資料

# 年金会計 基準変更影響

- 総利益/経費と営業外損益の組替え (年間影響額:99億円)
- 税引前利益、純利益に影響なし

年金会計 基準変更前						年金会計 基準変更後					
(億円)	2017年 1Q実績	2017年 2Q実績	2017年 3Q実績	2017年 4Q実績	2017年 年間実績	2017年 1Q実績	2017年 2Q実績	2017年 3Q実績	2017年 4Q実績	2017年 年間実績	
売上高	9,728	9,925	9,945	11,202	40,800	9,728	9,925	9,945	11,202	40,800	
売上総利益 (売上総利益率)	4,683 48.1%	4,956 49.9%	4,822 48.5%	5,466 48.8%	19,927 48.8%	4,678 48.1%	4,950 49.9%	4,817 48.4%	5,461 48.7%	19,906 48.8%	
経費	3,926	3,993	4,017	4,676	16,612	3,946	4,012	4,037	4,695	16,690	
営業利益 (営業利益率)	757 7.8%	963 9.7%	805 8.1%	790 7.1%	3,315 8.1%	732 7.5%	938 9.5%	780 7.8%	766 6.8%	3,216 7.9%	
営業外損益	23	33	73	95	224	48	58	98	119	323	
税引前利益	780	996	878	885	3,539	780	996	878	885	3,539	
純利益 (純利益率)	551 5.7%	692 7.0%	631 6.3%	545 4.9%	2,419 5.9%	551 5.7%	692 7.0%	631 6.3%	545 4.9%	2,419 5.9%	



## ■ハード/ノンハード別 対前年売上伸び率

		2018年		2017年	
		2Q 実績	年間 見通し	2Q 実績	年間 実績
<b>複合機</b>					
円貨	ハード	+4%	+5%	-2%	+2%
	ノンハード	0%	+1%	+1%	+3%
LC	ハード	+3%	+5%	-4%	-2%
	ノンハード	-2%	+1%	+1%	+1%
<b>LP</b>					
円貨	ハード	-2%	0%	+12%	+6%
	ノンハード	+4%	0%	+8%	+6%
LC	ハード	-3%	+1%	+10%	+3%
	ノンハード	+2%	+1%	+6%	+3%
<b>インクジェット</b>					
円貨	ハード	-4%	+4%	+4%	+11%
	ノンハード	-6%	-3%	-5%	-2%
LC	ハード	-6%	+4%	+4%	+8%
	ノンハード	-8%	-3%	-6%	-5%



## ■ カラー比率

		2018年		2017年	
		2Q 実績	年間 見通し	2Q 実績	年間 実績
複合機	売上高	59%	60%	58%	58%
	台数	59%	57%	54%	55%
LP	売上高	51%	52%	52%	52%
	台数	16%	19%	17%	18%

## ■ 複合機 モノクロ/カラー別 対前年売上伸び率

		2018年		2017年	
		2Q 実績	年間 見通し	2Q 実績	年間 実績
円貨	モノクロ	0%	-1%	-4%	-1%
	カラー	+3%	+5%	+3%	+5%
LC	モノクロ	-2%	-1%	-5%	-3%
	カラー	+2%	+5%	+2%	+2%

## ■ レンズ交換式カメラ比率

	2018年		2017年	
	2Q 実績	年間 見通し	2Q 実績	年間 実績
金額ベース	87%	87%	86%	85%
台数ベース	62%	65%	57%	58%

※金額ベースには交換レンズも含む

## ■ 半導体露光装置台数 光源別内訳

(単位：台)

	2018年		2017年	
	2Q 実績	年間 見通し	2Q 実績	年間 実績
KrF	12	37	8	24
i線	20	89	11	46
合計	32	126	19	70